

現在の地区の取組み

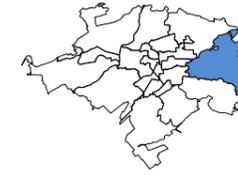
- 各種団体合同視察研修
- 一人暮らし高齢者の集い
- 社会福祉協議会会員募集
- 地区別福祉懇談会
- 敬老該当者への記念品贈呈
- 食事券配付事業
- 世代間交流グラウンドゴルフ大会
- 古谷地区納涼盆踊り大会
- 古谷地区体育祭及び児童生徒作品展
- 親子凧あげ大会
- 給食サービス事業
- 友愛訪問事業(65歳以上一人暮らし高齢者訪問)
- 各種団体への活動支援
- 広報誌「古谷」の発行
- チャリティゴルフ大会
- 古谷地区防災訓練
- 下校時パトロール
- PTA・育成会支援
- 年末・年始見守り活動
- 青パト防犯活動
- 「子ども110番の家」事業
- 子どもサポート委員会事業
- 子育てサロン
- 健康体操・ラジオ体操への参加
- 小学生の農業体験・伝統芸能・文化体験・発表支援

福祉施設等地域資源

- ① すみれの里・川越
すみれの里・川越デイサービスセンター
- ② 伊佐沼の森デイサービス
- ③ デイサービスセンターすまいる小江戸
高齢者福祉施設すまいる小江戸
- ④ ケアハイツ・川越

⑤ にじの家（障害者支援施設）

- ⑥ 古谷保育園
- ⑦ 古谷第二保育園
- ⑧ はるかぜ保育園
- ⑨ 伊佐沼すまいる保育園



古谷地区福祉プラン

地区の特徴

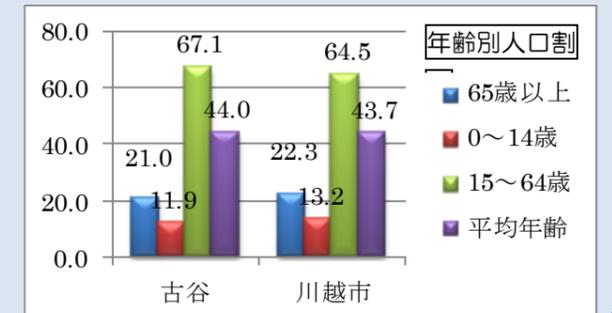
古谷地区は、市の東部に位置し、入間川・荒川の広い流域に接するとともに、国道16号線・JR川越線を介し、さいたま市方面からの玄関口となる地区です。ほぼ全域にわたり、豊かな自然環境・田園風景が残っていますが、近年は開発が進み宅地化されてきています。

高齢化が進んでおり、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯も多くなっています。

地域住民の状況

	古谷地区	川越市
●人口	11,168人 (前年比1.02%増)	346,739人
●世帯数	4,240世帯	145,904世帯
●高齢化率	21.0%	22.3%

※平成25年1月1日現在



地区の活動目標

目標1 各種団体がより結束して、安全で住んでよかった古谷地区をつくろう！

目標2 地域の見守り活動の充実・強化を図ろう！

目標3 多くの住民が参加しやすい、魅力ある活動を展開し、新規自治会員の加入増加をめざそう！

エリアミーティングであげられた課題

- ◇ 近所付き合いが希薄である
- ◇ 一人暮らし高齢者が増えている
- ◇ 災害時のことが不安である
- ◇ 外からは発見や支援が難しい
- ◇ 地域住民のマナーが低下している



目標1 各種団体がより結束して、安全で住んでよかった古谷地区をつくろう！

◎ 古谷地区の各種団体をもっと知ろう

具体的な取り組み

- ▶ 古谷地区には、たくさんの団体があります。各団体の活動内容を広く周知PRし、また、全団体が共通認識のもと、地域住民の助け合いの意識を一層高めていきます。

① 古谷地区各種団体の主なもの

・川越市自治会連合会古谷支会(自治会長会) ・古谷地区社会福祉協議会
・古谷地区民生委員児童委員協議会 ・青少年を育てる古谷地区会議(青少年育成推進員)
・古谷小校区スポーツ振興団体連絡協議会(体育協力員) ・川越市交通安全協会古谷支部
・川越市交通安全母の会古谷支部 ・かわごえ環境推進員古谷地区連絡会
・古谷地区文化団体連合会 ・川越市消防団古谷分団(自警消防隊)
・古谷地区老人クラブ連合会 ・古谷地区身体障害者福祉会 ・古谷地区遺族会
・古谷小校区子ども会育成団体連絡協議会 ・古谷地区保健推進員 ・川越市少年補導員
・会食ボランティア「成美会」 ・各学校PTA ・防犯推進員 ・川越市交通指導員
等々

- ② 自治会役員、民生委員、主任児童委員、地区社協役員をはじめ、各団体の地域のリーダー役となる人は、住みよい古谷地区をつくるための強い意識を持ち、自らの組織を継続的にPRすることに努め、地域全体から一層の関心を持ってもらえるように努めていきます。
- ③ 地区全体でのイベント(体育祭、盆踊り、グラウンドゴルフ大会等)では、全団体が積極的に関与し、参加者の一段の増員に向け、より結束して充実した事業になるように努めていきます。
- ④ 古谷地区がより安全で、住んでよかったと言われる魅力ある地域をつくるため、各種団体間でより横断的情報の交換と共有に努めていきます。



福祉懇談会(エリアミーティング)



世代間交流グラウンドゴルフ大会

目標2 地域の見守り活動の充実・強化を図ろう！

◎ 子どもたちのために

具体的な取り組み

- ▶ 子どもたちの登下校の見守りを地域全体で協力して実施しよう。

- ① 自治会関係者、民生委員、主任児童委員、在宅者が子どもたちの登下校の見守りを強化します。
- ② 交通安全協会、母の会、防犯推進員(青パト)、PTA、育成会が当番制で見守り体制を組みます。
- ③ 学校と協力して、見守り員(自治会長)に対し、下校時間の周知を行います。
- ④ 子どもたちが安心して遊べるように、公園や犯罪につながりやすい死角のある神社の境内等を重点的にパトロールの強化を図ります。

◎ 高齢者等支援の必要な方のために

具体的な取り組み

- ▶ 一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障害者や子育て世帯に対し、地域行事への参加を積極的に呼びかけていこう。

- ① 地域活動に参加が消極的な高齢者には、となり近所の人々が各種事業への参加を積極的・継続的に呼びかけていきます。
- ② 高齢者、子ども・保護者で、支援の必要性が認められる場合は、民生委員・主任児童委員等へ相談し、公的支援につなげるとともに、地域での見守りを行っていきます。
- ③ 食事会等の集まりへの参加経験のない高齢者には、その人に合った誘い方をしよう工夫していきます。また、高齢者同士の誘い合いが広がるよう働きかけを行います。更には、参加者にアンケート等実施し、より多くの方の参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- ④ 高齢者を対象にした健康体操等、地域包括支援センターのセミナー参加、実技指導の受講や保健推進員の協力を得て、介護予防・要援護者の早期発見に取り組んでいきます。

目標3 多くの住民が参加しやすい、魅力ある活動を展開し、新規自治会員の加入増加をめざそう！

◎ 魅力ある活動を展開しよう

具体的な取り組み

- ▶ 現行の様々な事業、行事等をもう一度見直し、改善・拡充を行い、魅力あるより良いものにしていき、最終的に自治会新規加入者増に結びつけていきます。

策定：古谷地区社会福祉協議会
編集：川越市社会福祉協議会
〒350-0036 埼玉県川越市小仙波町2-50-2
川越市総合福祉センター内 TEL：049-225-5703